# 令和7年度 学力向上を図るための全体計画

31練馬区立光が丘夏の雲小学校

#### 関係法規等

- •日本国憲法
- •教育基本法 •学校教育法

#### 学校教育日標

- 進んで学び 深く考える子供
- $\bigcirc$ 思いやりをもって 行動する子供
- 体をきたえ やりぬく子供

#### **児童・保護者・地域の実能・教師の願い**

落ち着いて生活、学習ができる児童、教育活 動に関心の高い保護者、光が丘に誇りをもつ 地域、統合前の旧校の良さを大切にしてほし との願い。それらを踏まえた教育活動を展開し、 児童の学力を向上させていきたい

### 各数科の指導の重占

- ○個々の児童に広じた指 導を行い、基礎的・基本 的な内容の確実な定着
- ○児童の学ぶ意欲を高め るために少人数・TT・グ ループ学習を行うなど 指導方法や指導体制の 工夫・改善に努める。

総合的な学習の時間の

児童の興味・関心を生かし、 教科から発展させた課題や 地域の特色を生かした課題

| 理顕解決のために 外部指

導者との協力指導や様々

な学習方法等を工夫する

)校内研究と関連させ、探究

的に関わりを深めるための

地域の人・もの・ことを新た に発掘し、単元や指導計画

の再検討をする。

児童自ら課題解 を取止し、元里ロンmへここ。 決に取り組む態度や能力を

指導の重点

# 学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- ○教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図る「カリキュラムマネジメント」の確立を図り、 各教科では、資質・能力が偏りなく育成されるよう、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実 現に向けた授業改善を行う。
- 全ての児童の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。
- ○これまでの実践とICTとの最適な組み合わせの実現を図る。
- ○児童の実態に応じ、補充的な学習や発展的な学習を取り入れ、個に応じた指導の充実を図る。
- ○全教科、領域その他日常の学校生活全般から、言語表現活動の充実とコミュニケーション能

## 道徳教育の指導の重点

- ○社会規範・行動様式の内面 化を図り、家庭や地域と連携し、思いやりの心や協力 する気持ちを大切にした道 徳的実践力を育成する。
- ○教育活動全体を通して道徳 的心情・態度を育成する。
- ○学校・家庭・地域社会の連 携による道徳教育を推進す

# 本校における 「確かな学力」 進んで学び、深く考える子供

学んだことを生活や学習に生かす力

各教科・領域等で身に付けさせたい基礎・基本

学習への興味・関心・意欲

基本的な生活習慣・学習習慣

#### 特別活動の指導の重点

- ○学級活動および児童会 活動の充実を図るととも に、望ましい集団活動を 通して豊かな人間関係を
- 同じ。○学校行事における体験 的な活動を通して、喜びや苦労を分かち合い、集 団への所属感や一体感 を深める。
- ○クラブ活動を通して、興 味・関心を追究する活動 を行い、個性の伸長を図

#### キャリア教育の指導の重点

- ○日常の学習の中で、児童一人一人が自分の能力や良さに気付き、自 己の可能性を追究する態度を育てる。
- ○地域で働いている人や地域の人々と触れ合うことにより、望ましい勤 労観・職業観を身に付け、自分の生き方について考えさせるようにす
- ○成育段階に応じたキャリア発達の特徴を捉え、充実を図り、自分で課 題を見いだし、挑戦する気持ちを育成する。

る.

#### 生活指導の重点

- ○職員全員が共通理解の下、組織的に課題の解決にあたり、心身ともに 健やかな児童の育成を図る。
- ○登校しぶりや友達関係など、児童の心の悩みの解決のために、スクー
- ルカウンセラー・心のふれあい相談員等との連携を図る。 ○児童の安全を守るため、非常時における緊急対応や連絡体制の整備 をするとともに、安全指導の徹底を図る。

# 本校の授業改善に向けた視点

# **指導内容・指導方法の工夫**

#### 〇教員は「分かる喜び」 「できる喜び」「表現する 喜び」を味わえる授業を 行うように努め、児童に 確かな学力を付けること〇週ごとの指導計画の作 を目指す。

- OICT機器やタブレット端 末を使用して「分かる喜 び」「できる喜び」「表現 する喜び |の実現を図る
- ○3~6年生の复数で、少 人数指導加配教員を活 用した習熟に応じた少 人数指導を計画的に行 う。また、学力向上支援 講師を活用した徹底した 基礎・基本の定着を目 指す。また、3年生以上 の学年では、交換授業 や一部教科担任制の実 施 グループ編成の工 夫を行うなど、複数で児 童の指導に当たる。
- ○「夏雲小のきまり」の定 着を図り、学習規律を 保った授業を実施する
- 〇児童一人一人の学習状 況を的確に把握するた めに指導記録等を取り 個に応じた適切な支援 を行うことによって、達 成の喜びを味わわせる 工夫をする。

# 教育課程編成上の工夫 校内における研究や研修の工夫

- つ学習指道要領を踏まる た授業時数と指導計画 に其づき 授業を宝施す
- 成・提出により、学習指 導計画の具現化を図り、 見通しをもって指導を行 うとともに授業時数確保 を図る
- )学年推薦図書の紹介等 を行い、読書指導の充 実を図る。
- )体カテストを実施し、児 童の体力を的確に把握 するとともに、体力向上 に向けた取組を行う。

# ○学習指導要領が示した

- 主体的・対話的で深い学 びの実現を日指す。全 体や個を意識した質の 高い授業を目指すため に以下の方策を実施す
- ○授業観察の充実を図る。 (毎日少しの時間でも全 学級を見て回り、適宜指 道を行う)
- 〇お互いが授業を見合え る環境づくりをする。
- 〇主幹教諭や主任教諭等 によるOJTの充実を図る。
- 〇今年度より生活科総合 的な学習の時間を中心 に研究をすすめ、「伝え 合いの工夫」「つながり や関わりのある場面設 定」「ICTの効果的な活 用1の3つの柱を設け、 研究に取り組む。
- 〇月1回以上の校内研究 会を設定し、研究の指針 を明確にして共诵認識 の下で研究活動が行え るようにする。また、分科 会内等の授業も含めて、 -人一回は研究授業を
- 〇中学校と互いの授業を 参観し合うなど、小中一 貫の視点をもって、研究 を進めていく。

## 評価活動の工夫

- ○記憶に頼らず、記録に基 づいた 適正な評価を行う。 また、毎時間、ねらいと 評価を明確にした授業を 展開する。
- 〇意図的・計画的な学習活 動と評価を行うために、 年間学習指導計画•評 価計画を作成し、各学級 等でけ 児童の 宝能を 踏 まえて学級経営計画・数 科経営計画を作成する。
- 〇児童自らが学習状況を 的確に把握し、意欲を もって積極的に学習活 動を行うために、自己評 価活動の充実に努める。

# 宇宙も地域社会との連集の工夫 ○家庭学習を定着させる

- ために、タブレット端末 のドリルパークなどを積 極的に活用し数師が学 習の進捗を確認する。 ○図書館支援員との連携
- を図るとともに保護者に よる読み聞かせを読書 活動の充実に生かす。 ○読書月間や読書旬間の
- 取組として、全校で読書 の継続的指導を行い、 読書调間の定着を図る。
- 〇地域協力員の協力のも と外国語活動、外国語 科の充実を図り、英語教 育の向上を目指す。また、 2学期に実施される4技 能検定においても地域 協力員の協力を仰ぎ、 技能向上を目指す。
- 〇放課後未来塾において 児童の基礎基本の力の 向上を図る。

#### 小中一貫の視点に沿った工夫

- ○校区別協議会や部活動 体験の実施, 小中一貫 教育研究グループによる 研究成果の活用、研究 会への参加等を通して光 が丘第三中学校との連 携を図る。
- ○職場体験の生徒の受け 入れや夏雲フェスティバ ルの生徒によるボラン ティアスタッフの要請をし 児童、生徒との交流を図